

# 平成28年度 地方創生関連事業進行管理シート

## 1. まち

「地域の活力を生み出す人口確保・定着と地域連携により時代にあったまちをつくる」

(1) 良好な住環境の整備促進…1事業 6,632千円、執行見込額 6,764千円

(単位:千円)

| 事業名             | 所管課 | 事業効果・目的  | 事業内容・予定   | 予算額   | 執行見込額 | 3月末進捗見込  | 次年度以降の課題   | 翌年度区分 | 備考         |
|-----------------|-----|--|---|-------|-------|--|--|-------|------------|
| 住生活基本計画策定委託事務事業 | 住宅課 | 限りある財源のもとで効果的かつ計画的な取り組みを展開していくことが不可欠であり、良質な住宅ストックの形成及び将来世代への承継、良好な居住環境の形成等により、居住の安定確保を目指す。 | 栗東市における良好な住まいや暮らしの実現に向けた取り組みを明確にするために策定された本計画の見直しを行う。<br>・委託業務…5月発注予定 | 6,632 | 6,764 | 住生活基本計画の関連業務として、「空家対策検討業務」を実施。<br>空家カルテ・マップの作成および空家所有者の意向調査の実施、また、庁内関係課による「栗東市空家等対策連絡会議」の開催、外部有識者による「栗東市空家等対策検討協議会」を設置し、本市における空家の現状と課題整理を行った。<br>住生活基本計画は、栗東市公営住宅等長寿命化計画と併せて、進捗状況等の点検(進行管理)を行い、今後の推進についての課題等の整理を行った。 | 「栗東市空家等対策検討協議会」において検討した課題等を基に、「空家等対策計画」の策定に向けた取り組みが必要である。また、栗東市公営住宅等長寿命化計画の進捗状況等に基づき、当該計画の修正について検討する必要がある。 | 継続    | 空家等対策事業に展開 |

(2) 市街地の活性化と地域拠点をつなぐまちづくりの推進…4事業 31,514千円、執行見込額 27,362千円

(単位:千円)

| 事業名             | 所管課   | 事業効果・目的   | 事業内容・予定   | 予算額    | 執行見込額  | 3月末進捗見込  | 次年度以降の課題  | 翌年度区分 | 備考                   |
|-----------------|-------|---|---|--------|--------|--|---|-------|----------------------|
| バス環境整備事業        | 生活交通課 | 栗東駅自由通路から駅前広場バス停までの案内看板を見やすくすることで、JR及びバス利用者の利便性・安全性の向上を図る。                  | 栗東市バリアフリー基本構想に基づき、栗東駅自由通路から駅前バス停へ移動するための案内看板を、見やすいものに改善する。<br>・改修工事…下半期に実施予定  | 432    | 275    | 栗東駅自由通路内への案内看板設置工事について、工事が完了し、案内看板が見やすく改善され、利用者の利便性の向上が図れた。(履行期限:H28.12.20~H29.3.31)   | 栗東駅自由通路内への案内看板の設置に引き続き、バス利用者の利便性向上のため、ダイヤや乗り継ぎ等の運行の見直し検討の必要がある。   | 継続    | バス交通体系見直し事業に展開       |
| 空きテナントの現況調査事業   | 商工観光課 | 栗東駅前地区、手原・安養寺地区の空きテナントの現況を調査し、空きテナントカルテを作成し、空きテナント対策にかかる施策の基礎資料とするもの。       | 栗東駅前、手原・安養寺地区、主要幹線道路等を基本として、市内の空き店舗(テナント全般)を対象として、実態調査を行う。また、不動産事業者等とのヒアリングを通じて、現状と課題を調査し、空きテナント対策の基礎資料を作成するもの。<br>・7月から実施予定                | 2,400  | 2,400  | 栗東駅前、手原・安養寺地区の一定のエリアを選定し、空きテナント実態調査として現場踏査等を実施した。結果、栗東駅前地区66件、安養寺・手原地区73件を確認し、空きテナントカルテを作成した。また、事業者ヒアリング調査を実施し、地域性の課題や不動産情勢等の実態を確認した。  | H28年度の調査結果をもとに、創業支援希望者の意見を聴くなかで、効果的な空きテナント対策を検討する必要がある。<br>また、市民・消費者・事業者ワークショップによる消費ニーズを捉えた施策の構築が求められる。 | 継続    | 【名称変更】<br>空きテナント活用事業 |
| バリアフリー基本構想推進事業  | 生活交通課 | 高齢者や障がい者などの日常生活や社会生活における移動上及び施設の利用上の利便性・安全性を向上させるための環境整備として、栗東駅のバリアフリー化を図る。 | 栗東市バリアフリー基本構想に基づき、自由通路(西口)エレベーター及び栗東駅構内エレベーター整備を実施する。<br>・自由通路エレベーター実施設計委託に係る協定締結(JR西日本)…5月締結予定<br>・栗東駅構内エレベーター設置実施設計に係る補助(JR西日本)…4月補助金交付決定 | 28,682 | 24,687 | 自由通路エレベーター実施設計委託に係る協定をJR西日本と5月に締結した。<br>JR西日本に対し、栗東駅構内エレベーター設置実施設計に係る補助金を交付した。<br>駐輪場移設工事については、完了が5月末の見込みのため、予算の繰越措置を行ったが、自由通路エレベーター、駅構内エレベーターの実設計については完了し、栗東駅のバリアフリー化の準備を進めることができた。 | H29年度に栗東駅自由通路(西口)エレベーター及び栗東駅構内(上下線)エレベーターの整備を終え、H30年度より供用を開始し、栗東駅利用者の利便性と安全性の向上を図る必要がある。                | 継続    |                      |
| 栗東バル・まちゼミ・セール事業 | 商工観光課 | 商業活性化を目指して既存の商工振興イベント等を拡大するもの。  | 平成25年度より実施している「りっとうバル」をはじめ、商業活性化イベントによる効果を一過性のものにとどめ、更なる拡充を進めるなかで、商業活性化の向上につなげる。<br>・栗東バル…9/22~24の3日間<br>・まちゼミ…11/1~30                      | -      | -      | 第4回りっとうバルについては、9月22日~24日の3日間開催し、バルチケットの販売は、過去最高の約1,130冊に上った。<br>まちゼミに関しては、湖南4市の商工会・商工会議所による「湖南4市あきんど連絡会事業」得する街のゼミナール2016として、11月に開催し、市内の21事業所が参画した。                                   | 毎年、好評を得ている栗東バル、まちゼミ事業に関しては、マンネリ化しないよう改善を加えながら、継続実施していく必要がある。  | 継続    | 【名称変更】<br>りっとうバル事業   |

(3) 地域資源を活用したブランドづくりとシティプロモーションによるまちの魅力発信…13事業 43,573千円、執行見込額 41,024千円

(単位:千円)

| 事業名                | 所管課     | 事業効果・目的  | 事業内容・予定  | 予算額   | 執行見込額 | 3月末進捗見込  | 次年度以降の課題   | 翌年度区分 | 備考                  |
|--------------------|---------|--|--|-------|-------|--|--|-------|---------------------|
| 総合戦略推進プロジェクト運営事業   | 元気創造政策課 | 人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環を確立する。                            | 栗東市総合戦略における施策の具現化と交付金事業採択に向けた地域再生計画の策定を行う。<br>・栗東市総合戦略推進プロジェクト運営支援等委託業務…6月発注予定                 | 6,363 | 5,663 | 栗東市シティセールス戦略推進事業(次行業務)と併せ、プロポーザルにより委託契約を締結し、コンサルから提案を受けながら、総合戦略の目標達成に向けた事業内容の検討を行った。<br>・栗東市総合戦略推進プロジェクト運営支援業務(履行期限:H28.7.15~H29.3.17) | 交付金事業採択におけるハードルが高く、地域再生計画の策定が難航している。総合戦略に基づき、人口減少や地域経済縮小の克服を目指した事業を検討する中で、採択要件に合致する事業を模索していく必要がある。 | 継続    |                     |
| 栗東市シティセールス戦略推進支援事業 | 元気創造政策課 | 栗東市の認知度や都市イメージを向上させ、栗東に興味を抱く人、訪れる人を増やすことで、にぎわいのあるまち、地域活力の創出を目指す。 | 栗東市シティセールス戦略・地域資源活用ビジョン実施計画に基づき、栗東ブランド認証制度設計や認証ロゴマーク等の検討、作成を行う。<br>・栗東市シティセールス運営等支援委託業務…6月発注予定 | 4,860 | 4,327 | 総合戦略推進プロジェクト運営事業(前行業務)と併せ発注した委託業務での支援を受けながら、シティセールス戦略の具現化に取り組むと共に、外部委員で構成するシティセールス戦略会議で意見を伺いながら、栗東ブランド認証制度創設に向けた素案を作成した。               | 栗東ブランドの創設に向け、内部・外部会議に諮りながら進めているが、どこにでもあるような単なる特産品のPRに終わらないよう、全庁的な取り組みへと展開していく必要がある。                | 統合    | 総合戦略推進プロジェクト運営事業に統合 |

平成28年度 地方創生関連事業進行管理シート

|                                     |          |  |  |        |        |   |   |    |   |
|-------------------------------------|----------|--|--|--------|--------|---|---|----|---|
| 栗東市魅力発信塾開催事業                        | 広報課      | 市民自らがまちの魅力を掘り起こし、市元気創造動画やFacebookなどに投稿していくようなシティセールスの活動の展開を呼び起こし、地域への愛着や誇りを持つ人のつながりを広げる機運を高める。   | FacebookやYouTubeなど様々なメディアを活用した情報発信に関心のある市民を対象にゼミナール方式の魅力発信講座を開催。<br>・初回7月開催予定(年間4回程度)  | 58     | 13     | 左記事業目的を踏まえ、シティセールス戦略支援事業と連携し、関係各課と共同で検討、11月から4回の栗東市魅力発信塾を開催。栗東の魅力発信協働型Facebookメンバー募集として以下のとおり実施した。(27人登録見込)<br>・11/26(土)公開講座「地域の魅力を発見し、発信しよう」(37人参加)<br>・12/17(土)文章講座(24人受講)<br>・1/21(土)写真講座(19人受講)<br>・2/11(土)実際の記事作成(16人受講) | 4月から栗東の魅力発信協働型Facebookをスタートさせる。また、塾の継続により、市民の視線からまちの魅力を掘り出し発信していく機運を高めることで、わがまち意識・愛着を醸成し、新しい公共への展開を図る必要がある。           | 継続 |   |
| マスコットキャラクター活用による本市PR事業(キャラクター管理・運用) | 広報課      | 行政イベント以外のあらゆる場面での登場により、市内外に向けて、栗東市の認知度を広げる。  | マスコットキャラクターくりちゃんの活躍の場をさらに広げ、市のメッセンジャー的役割を持ったまちの魅力発信アイテムとして活用する。<br>・マスコットキャラクター運用業務委託…4/28契約   | 3,464  | 3,444  | マスコットキャラクターの運用について、業務委託契約を締結し、左記目的のため、活動の場を広げた。<br>○活動実績: 出動回数: 70回(昨年 45回)<br>・10/15(土)～16(日)ゆるキャラ博in彦根参加<br>・11/5(土)～6(日)ゆるキャラグランプリ松山参加(ご当地部門382位)<br>・11/19(土)～20(日)世界ゆるキャラサミット羽生参加<br>・3/4(土)One Day Event滋賀区(東京)参加       | 今まで以上に市民の皆さんにも応援してもらえる存在となり、行政イベント以外のあらゆる場面での登場により、市内外に向けて、まちの魅力を発信していく市のメッセンジャー的役割を持った魅力発信アイテムとして活用していく必要がある。        | 継続 | 【名称変更】マスコットキャラクター活用によるシティセールス事業(イベントPR活用) |
| マスコットキャラクター活用による本市PR事業(イベントPR活用)    | 商工観光課    | 本市マスコットキャラクターくりちゃんの活用充実に努め、行政内のイベントに留まらず広く市内外へのメッセンジャー的な役割を果たす活用を行うことで、全国的な栗東市の知名度向上を目指す。  | ・各地で実施される「ゆるキャライベント」等への積極的な参加。(秋季を中心に調整中)<br>・県外での誘客キャンペーン等での活用…5/15栗東ステークス等<br>・くりちゃん関連グッズ作成とPR活動での配布等。(観光物産協会への補助事業で上半期に作成を依頼予定)       | 2,192  | 1,778  | 栗東ステークスの県外イベントをはじめ、市内イベントであるあかりの演出、市外のイナズマロックフェスなど、広く栗東市の知名度向上に向けて活用している。また、秋季を中心に県内外での全国的なイベント(ゆるキャラグランプリin愛媛や世界キャラクターさみっとin羽生)へ参加しマスコットキャラクターの活用充実に努めた。<br>併せて、秋季から県内外イベントや栗東観光案内所でくりちゃん関連グッズ(シール、ボールペン他)を販売開始している。         | キャラクターの知名度向上は、自治体のPR、グッズや特産品等の売り上げ、観光客誘客に相乗効果をもたらすことから、引き続き市内外へのイベント等への積極的な参加が必要である。                                  | 統合 | マスコットキャラクター活用によるシティセールス事業(イベントPR活用)に統合    |
| 議会広報発行事業(金勝山地域資源活用)                 | 議会事務局議事課 | 市民に金勝山間伐材を利用してつくった広報紙を実際に手にとってもらうことで、森林環境意識の高揚や周辺施設を含め金勝山への関心を高め、栗東のまちへの愛着心を醸成する。  | 地域資源活用の視点から金勝山間伐材を活用する仕組みの一環として、金勝山の木材で作った紙を使用して5月1日号からりっとう議会だよりを発行する。<br>・りっとう議会だより印刷等契約…4/4締結  | 5,405  | 4,568  | 議会だより5月1日号から間伐材利用による紙を使用し発行した。広報りっとう5月号の特集記事「夢の森を育てる」の中で、その旨を記載し、市民への周知を図った。また、議会だより裏面に間伐材利用の表記を行った。  | 広報紙の素材としては使用しないが、「公共建築物等における地域産木材の利用方針」等に関する議会での議論を議会だよりにて報告するなどして、森林環境意識や金勝山周辺施設への関心についての啓発に繋げていく必要がある。              | 終了 |   |
| 広報発行事業(金勝山地域資源活用)                   | 広報課      | 市民に金勝山間伐材を利用してつくった広報紙を実際に手にとってもらうことで、森林環境意識の高揚や金勝山周辺施設を含め金勝山への関心を高め、栗東のまちへの愛着心を広げる。  | 地域資源活用視点から金勝山間伐材を活用する仕組みの一環として、金勝山の木材で作った紙を使用して5月号から広報りっとうを発行する。<br>・広報りっとう印刷等契約…4/4締結   | 17,974 | 17,974 | 広報紙5月号から、毎月、間伐材利用による紙を使用し発行した。5月号では特集記事「夢の森を育てる」を掲載し、市民のみなさんに向けて、森林環境意識や金勝山周辺施設への関心について啓発した。  | 広報紙の素材としては使用しないが、関係部局と連携し「公共建築物等における地域産木材の利用方針」に基づくくみや活動の内容を広報の紙面で紹介するなどして、森林環境意識や金勝山周辺施設への関心についての啓発に繋げていく必要がある。      | 終了 |   |
| 広報発行事業(広報メディアの効果的活用)                | 広報課      | 様々な情報を適切かつ効果的に発信し、市の行政情報をはじめ、本市の持つ様々な魅力や資源の認知度を高める。  | 市ホームページ更新に併せて、さらに充実したシステムを構築し、より見やすく、魅力ある情報発信ツールとし市ホームページを活用する。<br>・市ホームページ管理システム…H29.1更新予定  | 1,399  | 1,399  | 左記事業目的を踏まえ、様々な情報を適切かつ効果的に発信するためのホームページ運用を行った。<br>12/1ホームページ更新および公開業務委託締結、3月リニューアルを行った。  | 今後も、だれもが適切な情報が得られ、かつ、栗東の魅力を効果的に発信できるよう、3月にリニューアル更新したホームページCMS(管理システム)の円滑な運用を進め、インターネットにおける栗東の入り口として、効果的にHPを活用する必要がある。 | 継続 |   |
| まちの元気と魅力・発信事業(SNS・メディアによる魅力情報発信)    | 広報課      | 迅速性、拡散性、視覚的効果などの特性をもった様々なメディアを活用し、効果的かつ戦略的に情報発信や魅力発信につなげる。   | SNSやテレビ放送などのメディア(動画)の活用により、市施策や市政に関する情報、まちの魅力や地域資源を取り上げた情報発信を行う。<br>・Facebook…原則毎日更新<br>・りっとうかわら版…毎月掲載(年間12回)<br>・広報テレビ番組…初回6月予定(年間4本制作) | 1,858  | 1,858  | Facebook…原則毎日更新<br>りっとうかわら版…毎月1本掲載<br>広報テレビ番組…2本制作放送済<br>・第1回: 絶景! 爽快! 金勝山ハイキング<br>・第2回: 栗東市子育て支援「いつでもだれでもどこでも」<br>・第3回: 東海道ほっこりまつり<br>・第4回: 子どもたちが挑戦! 葉山中のマイ弁当作り   | 今後も、SNSの持つ迅速性、拡散性、視覚的効果などの特性を活用し、効果的にまちの情報や栗東の魅力発信に繋げていく必要がある。  | 継続 |   |
| シティセールス活動認定事業                       | 元気創造政策課  | まちの魅力発信や地域資源を活用して活動する取り組みや事業など、本市シティセールスの趣旨にあった活動をされている市民団体やグループ、取り組み等についてシティセールス活動として認定し、これらの活動の情報発信などを市として支援を行うことにより、その活動をさらに磨きのかかった取り組みへと発展させていく。 | 本市シティセールスの趣旨にあった活動をされている市民団体やグループ、取り組みについて、シティセールス活動として認定し、積極的な情報発信を行う。<br>・シティセールス活動認定業務…認証制度策定(12月予定)後募集し、認定を行う。                       | -      | -      | 栗東市シティセールス戦略推進支援事業の中で、シティセールス認定制度の素案を作成し、外部委員会であるシティセールス戦略会議に諮り、検討を行った。   | 制度の内容や既存制度との違いを明確にし、分かりやすく、利用しやすい制度になるよう、検討が必要である。  | 統合 | 総合戦略推進プロジェクト運営事業に統合                       |

平成28年度 地方創生関連事業進行管理シート

|                       |       |   |   |   |   |  |  |    |                     |
|-----------------------|-------|---|---|---|---|--|--|----|---------------------|
| 地域の魅力「あるもの探し」実施事業     | 広報課   | まちの魅力の再発見「あるもの探し」を通じて市民のわがまちへの誇りや愛着醸成につなげる。   | 市内にある地域資源を見つけ出し、掘り起こし、地域資源活用へつなげるため、SNSの活用やワークショップの開催など有効な取り組みを検討する。<br>・栗東市魅力発信塾と連動するなど年間を通じて検討。 | - | - | 魅力発信塾と連動し、市民の皆さんとの協働型フェイスブック制作過程の中で栗東のどこかにある「いいもの」、「あるもの」を探し出し発信するなど、関係各課と連携しながら検討を行った。                      | 栗東の魅力発信協働型Facebookなどにより、市民の皆さんと一緒にまちの魅力を探し出し発信する機運を高め、栗東を好きな人の繋がりを広げるしくみを作っていく必要がある。 | 統合 | 魅力発信塾事業に統合          |
| 栗東ブランドによる認証制度事業       | 商工観光課 | 栗東ブランドによる認証制度の構築により、ブランド力を活かした地域経済の活性化を目指すもの。 | 全庁的に制度設計される栗東ブランド認証制度に連動する形で、商工業者向けの制度設計として、特典の充実や発信力の強化など、認証制度による付加価値を高める施策を検討していく。<br>・年度内詳細設計  | - | - | 栗東市シティセールス戦略推進支援事業と連動して、全庁的な栗東ブランド認証制度における商工振興関連分野の制度設計を行った。また、認証制度による付加価値を高める施策について、推進会議やコア会議を通じて協議・検討を行った。 | 全庁的な栗東ブランドに関する施策に沿った施策展開を図るとともに、主たる目的である「販路拡大」に向け、多様な手法を検討していく必要がある。                 | 統合 | 【名称変更】栗東ブランド等販路拡大事業 |
| シティセールス戦略等による積極的な情報発信 | 商工観光課 | シティセールス戦略に合わせて、栗東ブランドや特名産品等を全国的に売り出していくもの。    | シティセールス戦略に合わせて栗東ブランド等の特名産品を全国に売り出すことを通じて、栗東市の魅力向上による商工業の活性化を目指すもの。(コア会議等で具体の協議予定。)                | - | - | 栗東ブランド認証に向け、コア会議等を通じて協議・検討を行った。  | 栗東ブランド認証に向け、コア会議等を通じて引き続き具体化を図る必要がある。  | 統合 | 【名称変更】栗東ブランド等販路拡大事業 |

(4) 観光事業の推進…4事業 11,167千円、執行見込額 11,167千円

(単位:千円)

| 事業名             | 所管課   | 事業効果・目的   | 事業内容・予定  | 予算額   | 執行見込額 | 3月末進捗見込   | 次年度以降の課題   | 翌年度区分 | 備考                     |
|-----------------|-------|---|--|-------|-------|---|--|-------|------------------------|
| 栗東観光案内所の運営体制充実  | 商工観光課 | 栗東観光案内所事業と観光物産協会事業の一元化をすることで、観光振興のための体制強化と施策充実を図る。  | 栗東観光案内所事業を観光物産協会に委託し、観光物産協会が中心となった栗東観光案内所の運営を行う。<br>・4月から実施  | 6,164 | 6,164 | 観光案内所事業につき、H28年4月1日付けにて観光物産協会と委託契約を締結した。「観光情報発信」「来訪者対応」「特名産品販売」「案内所施設運営」を事業の柱として仕様書を作成し、委託を行った。   | 開所時間の延長や観光情報発信力の強化について対策を講じ、観光案内所運営方針(サービス向上・情報発信)の具現化を図る努力が必要である。 | 継続    | 【名称変更】栗東観光案内所の運営体制強化事業 |
| 湖南4市広域観光推進事業    | 商工観光課 | 観光振興について湖南4市の広域で連携を深め効率的に取り組むことにより、本地域の更なる魅力発信を行い、もって本市並びに湖南地域への来訪者の増加を目的とする。             | 従来の湖南地域観光振興協議会での取り組み(県外での誘客キャンペーン、PRツアー記者招聘事業等)に加え、新たに湖南4市がタイアップした観光事業(イベント)の検討実施や、今後の協議会組織のあり方について検討を行う。<br>・事業計画決定…6月上旬予定  | 434   | 434   | H28年度の事業計画に基づき事業(県外での誘客キャンペーン等)に取り組んだ。今後、湖南4市がタイアップした観光事業(H32年度の設立30周年イベント)や今後の協議会組織のあり方について、4市で協議を行う。  | スケールメリットを活かした県外での観光キャンペーン等を継続し、誘客効果を高める必要がある。                      | 継続    |                        |
| こんぜめぐりちゃんバス運行事業 | 商工観光課 | 地域資源の活用策として、本市山間部と最寄駅間及び周辺の観光スポットを結ぶシャトルバスを運行し、更なる誘客増及び観光振興を図るとともに、バスの運行により地域に就業の機会を創出する。 | 平成27年度より、春と秋の観光シーズンに手原駅⇨コミセン金勝⇨大野神社⇨片山⇨九品の滝⇨泣き地蔵⇨こんぜの里⇨金勝寺を循環するこんぜめぐりちゃんバスを運行した。平成28年度も、運行日の見直しを行うとともに、情報発信等にも努め、来訪者の利便向上と更なる誘客増を目指す。<br>・春季…4/23～6/26の土日祝日<br>・秋季…9/17～11/27の土日祝日 | 4,569 | 4,569 | 運行ルートに変更は行わなかったものの、以下の点につき運行の見直しを行った。<br>・ダイヤ変更…JR草津線とのより容易な接続を図った。<br>・運行期間…比較的利用の少ない4月当初の運行を取りやめ、この運行日を秋季運行日程に追加。従来10月からとしていた運行開始を9月中旬(シルバーウィーク)に前倒しし、行楽シーズンにおける利用者の利便性の向上に努めた。 | バス運行による経済効果も勘案した内容を引き続き検討し、地域資源を活用した観光客増加に取り組む必要がある。               | 継続    |                        |
| 観光資源の開発         | 商工観光課 | すでに存在しながら気付かれてこなかった魅力的な地域資源を活かし、観光のまちづくりへとつなげることで、更なる誘客増を目指す。                             | 栗東市観光物産協会との協働・連携により、地域資源を新たな観光資源として活用する方策を検討する。また、地域の特性を生かしたまつり、イベント等のあり方について検証と見直しを行う。<br>・観光物産協会事業計画決定…5月下旬予定  | -     | -     | 観光資源の開発を観光物産協会の主要なテーマの一つとして、役員会等で検討いただいた。また、栗東まつりを今後、観光物産協会が主体的に担っていくとの決定もされ、まつりのあり方等の検討に着手されている。   | 観光物産協会によってリニューアルされる市民まつりや、主要な地域資源である「馬」を活用した観光ツアーなどで誘客効果を高める必要がある。 | 継続    | 【名称変更】観光資源開発事業         |

(5) 誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進…4事業 71,364千円、執行見込額 66,651千円

(単位:千円)

| 事業名                         | 所管課    | 事業効果・目的  | 事業内容・予定   | 予算額    | 執行見込額  | 3月末進捗見込  | 次年度以降の課題  | 翌年度区分 | 備考 |
|-----------------------------|--------|--|---|--------|--------|--|---|-------|----|
| 高齢者が健やかに暮らせる「すみつけたい」まちづくり事業 | 長寿福祉課  | 高齢者ができる限り住み慣れた地域で、健康かつ生きがいを保ちながら自立した生活を営むために、地域包括ケアシステムの確立を図り、高齢者が健やかに暮らせる「住み続けたい」まちづくりを進める。 | 高齢者の身近な日常生活圏域(中学校区)ごとに地域包括支援センターを設置を進めるため、平成28年度において葉山地域包括支援センターを設置する。<br>・7月1日業務開始予定               | 22,611 | 22,598 | 特別養護老人ホーム淡海荘内に葉山地域包括支援センターを設置した。<br>・4/1 業務委託契約締結<br>・7/1 業務開始(2月末現在相談件数578件)  | 圏域地域包括支援センターの設置をすすめるため、葉山地域包括支援センター設置による評価・検証と併せ、他の圏域での設置場所・方法・時期について他市の状況も参考に検討を行う必要がある。 | 継続    |    |
| 地域生活支援事業                    | 障がい福祉課 | 福祉サービスの利用援助や就労相談支援により、障がいのある人の自立を支援し、地域生活を営むことを目的とする。  | 障がいのある人や家族からの相談に応じて、必要な情報を提供するとともに、専門的な助言や権利擁護のための援助を行う。<br>・随時実施(守山・栗東障害者相談支援センター、精神障害者地域生活支援センター) | 18,881 | 18,881 | 守山市と共同で、専門的・総合的な支援を行う相談支援センターを新たに開設し、基幹相談支援センターと位置づけ、地域における相談支援の中核的な役割を担っている。また、湖南4市の広域で、精神障がいに対応する専門的な相談支援を行う、地域生活支援センターを開設し、障がいのある人の自立した地域生活を支援している。 | 基幹相談支援センターとして、地域における中核的な役割を果たすため、組織・運営について強化・最適化する必要がある。                                  | 継続    |    |

平成28年度 地方創生関連事業進行管理シート

|                 |       |  |  |        |        |  |   |    |  |
|-----------------|-------|--|--|--------|--------|--|---|----|--|
| 災害時避難行動要支援者登録事業 | 社会福祉課 | 支援を必要とする人に対して、安心・安全を提供することができる。                | 災害発生時に支援を要する人に対して迅速に安全を確保するために要支援者登録事業を実施する。<br>・要支援者登録台帳更新…6月予定               | 357    | 357    | 6月に被登録者の転居等に伴う台帳更新、7月に自治会長、民生児童委員に提供している台帳の交換を行った。万一の事態に備え、名簿を活用した実効性のある避難支援の取り組みをお願いした。 | 適切な支援者がおられない、また自身で支援者を依頼することが難しい状況があることを踏まえ、地域で支えあうしくみを推進する必要がある。 | 継続 |  |
| 特定健診・特定保健指導推進事業 | 保険年金課 | 第2期栗東市国民健康保険特定健康診査等実施計画に基づき、国保加入者の生活習慣病の予防を行う。 | 40歳～64歳の国保加入者について、特定健診受診時の一部負担金(1,500円)を市が負担することにより、受診率の向上を目指す。<br>・6月～10月実施予定 | 29,515 | 24,815 | 特定健診受診票の送付時に対象者全員が無料で受診できることを周知している。9月には、未受診者に、はがきにて再勧奨と電話による勧奨も実施した。                    | 特定健診受診対象者(40歳～74歳)が無料で受診できるが、さらに受診率向上の取り組みを進める必要がある。              | 継続 |  |

2. ひと  
「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

(1)結婚の希望をかなえる環境の整備…1事業 626千円、執行見込額 352千円

(単位:千円)

| 事業名            | 所管課   | 事業効果・目的  | 事業内容・予定                          | 予算額 | 執行見込額 | 3月末進捗見込   | 次年度以降の課題  | 翌年度区分 | 備考 |
|----------------|-------|--|----------------------------------|-----|-------|---|---|-------|----|
| 男女共同参画のまちづくり事業 | 自治振興課 | 職業と家庭・地域生活との両立を支援し、男女一人ひとりが希望するバランスで仕事と家庭生活の調和が図られるよう取り組む。 | まちづくり女と男の共同参画プラン第5版に基づき、施策を展開する。 | 626 | 352   | 職員による推進委員会、学識者と市民による推進協議会を7月・3月に開催した。プラン第5版進捗のため、各課の取組み・実績の評価、検討を行った。 | プラン第5版に基づき施策を展開する中で、引き続き仕事と家庭生活の調和が図られるよう啓発に取組む必要がある。 | 継続    |    |

(2)妊娠・出産・子育てをつなぐ安心の支援…4事業 159,856千円、執行見込額 158,487千円

(単位:千円)

| 事業名                        | 所管課    | 事業効果・目的  | 事業内容・予定  | 予算額    | 執行見込額  | 3月末進捗見込  | 次年度以降の課題                                | 翌年度区分 | 備考 |
|----------------------------|--------|--|--|--------|--------|--|---|-------|----|
| 子ども・子育て支援事業の利用者支援事業(母子保健型) | 健康増進課  | 妊娠期から子育て期にわたる相談支援体制を構築する。  | 母子保健事業に関する専門知識を有する保健師、助産師等を配置し、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応する。<br>・6月から実施予定  | 13,038 | 13,038 | 事業の開始にあたり助産師等を配置し、6月より妊娠届け出時の面接等を通して妊娠期からの相談・支援を行った。   | 産後ケア事業など相談支援体制の構築を段階的にすすめていく必要がある。      | 継続    |    |
| 地域子育て支援センター事業              | 子育て応援課 | 市内の地域での子育て支援の拠点を整備し、①子どもと親の交流、②子育て相談、③子育て情報の提供、④子育てへの助言や援助を実施することにより、子育て不安の緩和、子どもの健やかな育ちを促進する。 | 地域子育て支援センター(拠点)を、従来の大宝東児童館、金勝児童館、カナリヤ第三保育園内の設置に加え、平成28年度は治田東児童館内にも支援センターを開設。子育て相談や子育て講座の実施回数を増加し、支援を拡充。<br>・支援センター新設(3ヶ所→4ヶ所)…4月から実施 | 51,735 | 50,366 | 地域子育て支援センターについては、新たに4月に治田東児童館内に開設し、市内では計4ヶ所においてセンター事業を実施している。従来の9ヶ所の児童館と併せて、各種子育て講座等の子育て支援事業を実施した。 | 地域子育て支援センターと児童館の連携とそれぞれの機能分担の明確化が求められる。 | 継続    |    |
| こんにちは赤ちゃん訪問事業              | 健康増進課  | 乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成を図る。   | 生後4か月までの乳児のいる家庭を助産師または保健師が訪問し、育児についての指導を行う。  | 5,251  | 5,251  | 生後4か月までの乳児のいる家庭に助産師または保健師が訪問し、育児に関する相談・指導を行った。   | 継続実施により乳児の健やかな成長を支援する必要がある。             | 継続    |    |
| 妊婦一般健康診査委託事業               | 健康増進課  | 妊婦の経済的負担を軽減するとともに、妊婦と胎児の健康保持増進を図る。   | 妊婦健康診査費用の助成を行う。  | 89,832 | 89,832 | 妊婦健康診査を医療機関委託により実施し、その費用助成を行うことで妊婦及び胎児の健康の保持増進を図った。  | 継続実施により経済的負担の軽減を図り母体や胎児の健康管理を行う必要がある。   | 継続    |    |

# 平成28年度 地方創生関連事業進行管理シート

(3) 仕事と子育ての両立の支援…2事業 41,397千円、 執行見込額 42,810千円

(単位:千円)

| 事業名           | 所管課    | 事業効果・目的   | 事業内容・予定   | 予算額    | 執行見込額  | 3月末進捗見込  | 次年度以降の課題   | 翌年度区分 | 備考 |
|---------------|--------|---|---|--------|--------|--|--|-------|----|
| 潜在保育士の再就職支援事業 | 幼児課    | 研修等におけるスキル習得により、保育士として就職する不安解消をはかり就業につなげる。<br>また、保育士の確保から、就学前保育・教育の充実をはかるとともに、待機児童解消を目指す。 | 「保育現場の現状」「安全管理」など最新保育事情講義の受講、保育園において体験的保育実技学習<br>・対象…保育現場で就業していない有保育士資格者<br>・講義…7～8月 3回程度<br>・園研修…8月 (定員…20人) | 130    | 51     | 潜在保育士の発掘により保育士確保につなげることを目的として『保育士就職支援研修会』を下記の通り実施した。<br>・講義<3回><br>7/19・7/20(講師:古橋紗人子氏)<br>7/29(講師:杉江由紀子氏)<br>・園研修および見学<1～3日/人><br>8/5(治田西幼児園)<br>8/24(治田東幼児園、治田保育園)<br>8/22～8/24(治田西第三カナリヤ保育園)<br>参加者は4人で、今回の研修をきっかけとして3人が保育現場へ就職された。他の1人については保育士登録をして、次年度以降の雇用につなげた。 | 潜在保育士と言われる、保育士資格の保有者で職に就いていない人は、多数いると予想されるが、今年度は参加者が少なかった為、研修の機会があることを広く周知することで参加者を増やしていく。<br>そのためには、開催時期の広報期間を早い時期からしていく必要があると考える。また、開催時期、託児の準備など、参加しやすい環境を設定していくことも必要だと考える。<br>また、潜在保育士の実態把握に努める必要もある。 | 継続    |    |
| 学童保育所の管理運営事業  | 子育て応援課 | 子ども・子育て支援新制度における放課後児童健全育成事業として、本市におけるニーズに対応するため施設の拡充、整備を図り、子育て支援を推進する。                    | 増加する地域ニーズに対応するため、葉山東学童保育所を増築する。また治田東学童保育所のトイレを改修し保育の質の向上を図る。<br>・工事…6月着工予定                                    | 41,267 | 42,759 | 葉山東学童保育所増築工事について契約を締結し、増築工事に着手している。(履行期限:H28.9.20～H29.3.15)<br>治田東学童トイレ改修工事について契約を締結し、改修工事に着手している。(履行期限:H28.12.14～H29.3.18)  | 増加するニーズに対する施設の確保と、老朽化する施設の維持管理が求められる。  | 継続    |    |

(4) 確かな学力と生きる力を育む教育環境の整備…4事業 188,974千円、 執行見込額 47,761千円

(単位:千円)

| 事業名                  | 所管課   | 事業効果・目的   | 事業内容・予定   | 予算額     | 執行見込額  | 3月末進捗見込   | 次年度以降の課題   | 翌年度区分 | 備考 |
|----------------------|-------|---|---|---------|--------|---|--|-------|----|
| ICT教育研究用タブレット端末等導入事業 | 学校教育課 | ICT教育の推進に向け、教育活動への活用に向けた研究を行う。                                  | ICT教育の推進に向けて、教育研究所において授業におけるタブレットの活用に向けての調査研究を行う。<br>・9月から実施予定  | 580     | 578    | 教育研究所の委託研究として、大宝東小学校で「小学校におけるICT機器の効果的な活用に関する研究」をテーマに研究を行った。これまでに6回の研究協議会を開催し、少しずつ成果をあげることができた。   | 次年度以降順次タブレットを導入し、さらに研究を進めていかなければならない。  | 継続    |    |
| 英語指導助手派遣事業           | 学校教育課 | 平成31年度から予定されている小学5・6年生での英語の教科化に先駆け、英語力向上を目指す。                   | 各小学校に派遣する英語活動指導助手3名を順次増員し、充実を図る。<br>・4月から実施   | 2,298   | 2,298  | 外国語活動指導助手は、小5、小6年で各クラス週1時間の外国語活動の指導を担当とともに着実に実施している。10/25には、大宝東小学校において、担任と外国語活動指導助手のチームティーチングによる授業研究会を実施し、9月期は、授業研究会を見据えて、指導方法の改善に取り組んだ。        | 外国語活動の教科化に向けた取組の一環として、今後も本事業の充実を進めていかなければならない。   | 継続    |    |
| 食育推進事業               | 農林課   | 児童、園児、に本市農業の学習機会の提供により食の大切さを学ぶ。<br>児童、園児、保護者に食育を行い、本市農業の大切さを学ぶ。 | ・たんぼの子体験活動を通じ、食育を行う。学校給食に食材を供給している農家が小学生の社会見学を受け入れる。(平成28年5月～平成29年2月)<br>・学校給食に食材を供給している農家が小学校を訪問し給食の際に一緒に食事を取り農業について説明する。(平成28年11月～12月)<br>・幼児園等に栗東くり太郎かぼちゃの苗や資材を供給し、園児や保護者等に野菜を育てる体験等を行う。(平成28年4月～9月) | 640     | 550    | たんぼの子体験活動では、田植え、稲刈りなどの農業体験に農業者が指導する以外にも、小学生が農業の話を直接農家から聞く機会など補完授業を行う小学校もあった。幼児園では、かぼちゃの栽培を通じ農家とのかかわりを持ち、園児と交流する機会などを積極的に準備いただき、農業者も食育活動を実施した。   | 子どものころから食や農に関心を持ち、食べ物の成り立ちを学ぶ食育教育は生きる力を育むためにも大切な取り組みであるが、農業者の出前授業や指導に対する負担も大きく、今後のボランティア出役の方法が課題となる。   | 継続    |    |
| 施設整備事業(学校給食共同調理場)    | 教育総務課 | 新しい学校給食共同調理場を建設することにより、学校給食の充実を図る。                              | 建設工事設計及び造成工事を行う。<br>・建設工事設計業務…6月発注予定<br>・造成工事に先立つ埋文調査…8月発注予定  | 185,456 | 44,335 | 造成及び建築設計業務について、委託契約を締結した。(履行期限:H28.6.28～H29.3.14)<br>また、埋蔵文化財について、試掘調査を9月に実施し、本調査を12月から実施しており、H29.4末に完了予定である。<br>造成工事については、埋蔵文化財本調査完了後に着手予定である。 | 建設設計がH29.3末に完了し、5月に入札、6月議会を経て7月より工事着工、H30.年7月末完了予定。造成工事を建設工事着工まで(H29.7)に完了する必要がある。H30.9開業に間に合わせるため、関係機関(国道、河川、野洲川土地改良区等)と十分調整を取り、遅れることのないように工事を進めなければならない。 | 継続    |    |

平成28年度 地方創生関連事業進行管理シート

(5)すべての子どもの育ちを切れ目なく支える支援の実施…6事業 51,803千円、執行見込額 49,452千円 (単位:千円)

| 事業名                  | 所管課      | 事業効果・目的   | 事業内容・予定  | 予算額    | 執行見込額  | 3月末進捗見込   | 次年度以降の課題  | 翌年度区分 | 備考                      |
|----------------------|----------|---|--|--------|--------|---|---|-------|-------------------------|
| 幼少期から青年期につなぐ発達支援構築事業 | 子ども発達支援課 | 福祉と教育を担う関係課の機能的な融合により、栗東市の総合的な子育て支援を確立する。   | 高校生期まで切れ目なくつながる支援システムの再構築を図る。<br>・移行支援コーディネーターの雇用…4月から実施<br>・発達支援連絡会議の開催…要綱作成5月、連絡会議開催7月予定<br>・子どもの成長段階に応じ、子育てに安心を実感できるしくみの構築…随時実施 | 1,137  | 593    | 関係課相互の切れ目ない支援のため発達支援連絡会議(3回)開催。その中で栗東市個人情報保護条例と支援情報の蓄積の方法について協議を行った。支援を必要とする中学校3年生対象に、卒業までに保護者の同意があるケースは引継ぎシートを作成し進学先に引き継ぐ流れ(案)を作成した。これまで作成してなかった就学前の「個別の教育支援計画」を幼児課と共同で作成した。   | 現雇用条件は稼働日数が週3日で時間給であること。また特別支援教育を熟知した人材を必要とすることから、次年度は「発達支援コーディネーター」(嘱託職員)として、移行支援を含め支援力を持つ人材を雇用する必要がある。また、関係課の発達障がい支援の理解と継続した発達支援システムの認識により切れ目ない支援を行う必要がある。  | 継続    |                         |
| 生活困窮自立相談支援事業         | 社会福祉課    | 経済的困窮の解消だけでなく、社会的孤立の解消など、社会への再参加を促すことができる。  | 経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれがある人に対し、自立のための相談業務を中心とした支援を行う。<br>・随時実施  | 18,780 | 18,222 | 生活困窮に陥った方の相談を受け、自立に向けた支援を行った。<br>新規相談件数 83件 プラン作成 16件<br>学習支援 9人 45回 家計相談 255件  | 複合した問題を抱えておられる相談者に対し、継続した支援ができるよう、関係課・関係機関等による連携体制を強化する必要がある。   | 継続    |                         |
| 学校サポート支援員事業          | 学校教育課    | 小1対応、不登校支援、特別支援学級対応等の各種課題に対し、各小中学校の実情に応じて総合的な支援を行う。                                     | 各小中学校における各種課題に対する支援を行うため、1校につき2名の支援員(教員免許保持者1名、免許なし者1名)を配置。<br>・4月から実施   | 19,165 | 19,165 | 学校サポート支援員が、各校の課題に応じ、少人数指導や複数指導の補助、不登校児童生徒の対応を行った。各校2名～3名配置しており、学校からのニーズも高い。   | 不登校や不適応児童生徒が増えている状況であり、学校サポート支援員のさらなる増員も検討していかなければならない。   | 継続    |                         |
| 特別支援教育推進事業           | 学校教育課    | ADHD、LD、高機能自閉症等生活や学習など学校生活で特別に支援を要する児童生徒を支援することにより、当該児童生徒、保護者また周りの児童生徒の安定と学習を保障するために実施。 | 特別支援を要する児童生徒への支援。<br>・4月から実施   | 10,172 | 9,572  | 特別支援教育巡回相談員が各小中学校において、特別な支援を要する児童生徒への指導や支援について助言を行った。   | 特別な支援を要する児童生徒に対して専門的な助言を行い、よりきめ細やかな支援を実施する必要がある。  | 継続    |                         |
| 放課後子ども教室推進事業         | 生涯学習課    | 未来を担う子どもたち(青少年)を学校・地域・家庭が連携して、心豊かでたくましい子どもに育てていく。                                       | 市内各小学校の放課後に空教室や体育館・コミセンを活用して、地域住民等のボランティア参画により子どもたちに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流など多彩な活動機会を提供する。<br>・5月～3月の平日(週1回程度)に放課後～17時まで実施予定。        | 2,549  | 1,900  | 市内7小学校の放課後に、5月から平日(週1回程度)に実施している。年度内は3月8日で終了。<br>(参加子ども登録及びボランティアスタッフ数)<br>治田:子ども58人 スタッフ10人<br>治田西:子ども40人 スタッフ10人<br>治田東:子ども48人 スタッフ12人<br>大宝:子ども50人 スタッフ12人<br>大宝西:子ども36人 スタッフ18人<br>大宝東:子ども51人 スタッフ13人<br>葉山東:子ども42人 スタッフ17人<br>合計:325人 92人 (3月現在) | 現在、葉山と金勝学区で実施できていないが、この実施に向けては、安全に活動するため、各地域(保護者)ボランティアの確保が絶対的条件であり、学校を通じて各家庭に支援者募集のチラシを配付したり、生涯学習課の講座開催時などでも募集を呼びかけている。<br>しかし、実施済みの学区においても例外ではなく、支援者の確保と高齢化が大きな課題である。<br>学校施設(体育館・校庭)の利用申請については、各校教諭ともご理解頂いており、柔軟な対応ができていますので、これを継続していただく必要がある。 | 継続    |                         |
| 発達支援・特別支援教育実施計画      | 子ども発達支援課 | 支援の必要な人だけでなく、全ての子どもの育ちや子育ての安心を支え、共生社会の実現に寄与する。  | 就学前から高校生期まで一貫した発達支援と特別支援教育の連携支援を整理協議する。<br>・関係課と協議し、協働で推進する…連絡会議で資料を提示し協議 10～11月予定   | -      | -      | 校・園の特別な支援を必要とする子どもの取り組みにおける今後の指針を確立するため、特別支援教育推進協議会(3回)で検討し、「栗東市特別支援教育基本ビジョン」を策定した。H29年4月から内外へ周知予定。   | 「栗東市特別支援教育基本ビジョン」の策定をベースに、具体的な取り組み計画である「栗東市特別支援教育実施プラン(仮)」の作成について、関係課(者)との協議検討に取り組み必要がある。   | 統合    | 幼少期から青年期につなぐ発達支援構築事業に統合 |

(6)出産・子育てにかかる経済的負担軽減のための支援…1事業 180,336千円、執行見込額 161,301千円 (単位:千円)

| 事業名          | 所管課   | 事業効果・目的                                 | 事業内容・予定                    | 予算額     | 執行見込額   | 3月末進捗見込                               | 次年度以降の課題                        | 翌年度区分 | 備考 |
|--------------|-------|---|----------------------------|---------|---------|---------------------------------------|---------------------------------|-------|----|
| 乳幼児福祉医療費助成事業 | 保険年金課 | 子育て世代の経済的負担の軽減を図り、子どもを安心して産み育てられる環境を作る。 | 0歳～就学前の乳幼児の医療費の自己負担分を助成する。 | 180,336 | 161,301 | 福祉医療受給券の申請について、広報、ホームページ等に掲載し、周知している。 | 円滑に、福祉医療受給券の申請が行われるよう周知する必要がある。 | 継続    |    |

# 平成28年度 地方創生関連事業進行管理シート

## 3. しごと

「立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる」

(1) 就労を希望するすべてのひとへの機会の提供と良好な就労環境の創出…2事業 2,131千円、執行見込額 1,999千円

(単位:千円)

| 事業名           | 所管課     | 事業効果・目的   | 事業内容・予定  | 予算額   | 執行見込額 | 3月末進捗見込   | 次年度以降の課題  | 翌年度区分 | 備考                 |
|---------------|---------|---|--|-------|-------|---|---|-------|--------------------|
| 就職困難者就労支援事業   | 経済振興労政課 | 就労阻害要因を抱える人が、安定かつ継続した就労を実現することにより、自立した日常生活・社会生活を営めるようになることを目指す。                     | 就労支援計画に基づき、関係機関等と連携し、就職困難者等への就労支援を実施する。<br>・第三次栗東市就労支援計画策定…9月までに実施予定<br>・就労相談…随時実施<br>・個別ケース会議…随時実施<br>・就労相談連絡会議…毎月1回<br>・湖南就労支援連絡会議…毎月1回<br>・栗東市就労支援事業推進会議…9月・2月予定(年2回)<br>・湖南就労支援事業推進会議…9月・2月予定(年2回) | 2,131 | 1,999 | 概ね計画どおり進捗しているが、第三次栗東市就労支援計画は、現在策定に向けて準備中で、栗東市就労支援推進会議での意見を基に本年度中に策定する。<br>就労相談は2月末時点で54名(内新規相談者31名)、延べ493件実施し、掌握している分で13名が就労した。 | 就職困難者等の安定就労の実現のためには、受入れ側の企業との適切なマッチングにより個々の特性を企業側に十分理解いただくことが重要である。このためにも、関係機関等と連携を図り、障がい者雇用等の理解をより一層深めるため、継続した周知・啓発の取組みも必要である。 | 継続    | 【名称変更】<br>就労支援対策事業 |
| 若年者と女性の就労支援事業 | 経済振興労政課 | 青少年が能力を有効に発揮できる環境整備、適切な職業選択や職業能力の開発・向上、また、女性の職業生活と家庭生活との円滑かつ継続的な両立が図れる職場環境づくりを促進する。 | 企業訪問の機会を活用して、若者雇用促進法や女性活躍推進法など、若年者や女性の雇用促進に関する制度概要、支援措置等を啓発する。また、市内事業所の雇用実態調査を実施する。<br>訪問企業数…265社×2回(7月、2月)  | -     | -     | 7月を中心に268社訪問し、リーフレットなどを活用し雇用促進に関する制度の周知・啓発を行った。雇用実態調査については実施に向け検討を行った。  | H28年度において為し得なかった雇用実態調査を次年度早期(7月)に実施し、若年者や女性の雇用促進を図るべく、調査結果を分析し施策に反映させていく必要がある。  | 統合    | 就労支援対策事業に統合        |

(2) 中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化による競争力の向上…9事業 21,313千円、執行見込額 9,830千円

(単位:千円)

| 事業名                        | 所管課   | 事業効果・目的  | 事業内容・予定   | 予算額    | 執行見込額 | 3月末進捗見込   | 次年度以降の課題   | 翌年度区分 | 備考   |
|----------------------------|-------|--|---|--------|-------|---|--|-------|--|
| 小規模事業者持続化補助金制度創設事業         | 商工観光課 | 魅力ある個店づくりを通じて地域活性化を図ろうとするもの。                             | 国の補助事業(小規模事業者持続化補助金)の活用を促進し、個店の魅力向上に寄与する店舗改装等を推進するため、補助対象経費における事業者負担の一部を補助する制度を新設するもの。<br>・7月から実施予定   | 5,000  | 2,710 | 栗東市小規模事業者持続化補助金交付要綱を告示(H28.7.15)し、制度運用を開始した。制度の性質上、国補助金に係る実績報告の時点で申請される予定である。なお、栗東市商工会経由の案件で、24件が補助採択(国補助金)を受けており、現時点で、22件が市補助金を申請済み。 | H28年度2次補正予算により国による持続化補助金が募集されており、この事業実施年度がH29年度となるため、要綱改正により適切な対応を図るための準備が必要となる。   | 継続    | 【名称変更】<br>小規模事業者持続化補助金制度                         |
| よろず支援拠点との連携による定期的相談窓口の開設事業 | 商工観光課 | 中小企業者が抱える様々な課題に対して、ワンストップ窓口で支援する体制を構築し、経営改善や売上げ向上を目指すもの。 | 滋賀県よろず支援拠点との連携を充実させるため、市窓口のサポート体制の拡充を図る。定期的(毎月)な相談窓口設置にあたり、市における受付業務や連絡調整業務を行う。なお、相談窓口では、相談案件に応じて中小企業診断士等の専門家の派遣を要請する。<br>・7月から実施予定   | 60     | 60    | 滋賀県産業支援プラザ内の滋賀県よろず支援拠点との連携の下、7月度より、ビジネスチャンス拡大「りっとう元気力向上相談会」を開催している。<br>原則として、毎月、第4月曜日午前10時および午前11時の2枠、事前予約制により運用している。現在、6件の相談実績がある。   | 本相談窓口の開設情報が中小企業者等に十分に行き届いていないことが懸念されるため、関係機関への働きかけなど、周知方法を改善していく必要がある。   | 継続    | 【名称変更】<br>りっとう元気力相談会開設事業                         |
| 空きテナント活用によるチャレンジショップ事業     | 商工観光課 | 創業希望者の創業に向けた障壁を緩和することで、創業の実現を図ろうとするもの。                   | 創業支援事業計画に基づく創業の実現を誘導するため、創業希望者が新規開業に向けた助言等を受けながら、空きテナントを活用したチャレンジショップ事業を社会実験として実施する。<br>・7月～12月の6ヶ月間で実施予定   | 1,500  | 1,500 | 栗東市商工会主催により、10月1日より、栗東チャレンジショップとして栗東ウイングプラザ空きテナントを活用して事業実施しており、5区画計画したなかで満室(1階:4店舗、2階:1店舗)でオープンした。<br>実施期間: 10月1日～3月30日               | 創業支援事業計画に基づき、チャレンジショップ事業を継続する必要があるとともに、チャレンジショップ入居者が、市内で創業を実現するための施策を検討する必要がある。  | 継続    |  |
| 域内調達拡大運動事業                 | 商工観光課 | トップセールス等による工場、物流施設、学校、病院、福祉施設等へ調達比率の引上げを要請するもの。          | 従来までも実施しているトップセールスを始めとして、市内の工場、物流施設、学校、病院、福祉施設等に訪問した際、地域経済の循環が、それぞれの主体においても相乗効果を生むことの共通理解を育むため、各事業所における市内での調達比率の引上げを1つの運動として展開するもの。<br>・下半期に実施予定  | 60     | 60    | 市内での市内調達状況等を確認するため、新財務会計システムを活用し、全所属における調達状況を調査し、現状値を確認した。また、域内での調達拡大の働きかけを行うため、市内中小企業者等への啓発チラシの作成や配布等を実施した。                          | りっとういいな!めぐるプロジェクト(域内調達拡大運動)の着手に合わせ、市全所属の市内での調達率の向上や、既存の補助施策見直しによる市内での消費喚起に向けた取組みを進める必要がある。<br>また、本プロジェクトの推進に向け、中小企業者等、大企業者、市民への啓発活動を強化する必要がある。                 | 継続    | 【名称変更】<br>りっとういいな!めぐるプロジェクト                      |
| 滋賀県緊急経済対策資金の信用保証料助成制度の拡大延長 | 商工観光課 | 中小企業の経営基盤の強化を図るため、経営資金融資制度等の助成を行うもの。                     | 平成25年度～平成27年度の3か年実施した「栗東市中小企業緊急支援信用保証料助成金交付事業」の拡大延長するため、新たな助成制度を実施するもの。具体的には、滋賀県中小企業振興資金融資制度における緊急経済対策資金や開業資金のほか、栗東市小規模企業者小口簡易資金貸付制度も含めて助成対象とし、中小企業の設備投資や運転資金の融資環境を整備するもの。<br>・7月から実施予定 | 13,193 | 4,000 | 栗東市中小企業等信用保証料助成金交付要綱を告示(H28.7.15)し、運用を開始している。制度開始後、12件の申請を受けている。また、制度の活用に向け、関係機関や金融機関への働きかけを実施した。                                     | 本要綱制定時には、説明会を始めとする各種周知に努めてきたが、本制度の活用実績が伸び悩んでおり、引き続き、制度周知に向けた取組み強化が必要である。<br>また、創業希望者の創業資金として、日本政策金融公庫の融資制度も活用されていることから、県制度による助成制度との均衡性を保ちながら、利子補給制度を創設する必要がある。 | 継続    | 【名称変更】<br>中小企業等信用保証料助成制度<br>【追加】<br>創業支援融資利子補給制度 |

平成28年度 地方創生関連事業進行管理シート

|                                     |       |   |   |       |       |  |  |    |  |
|-------------------------------------|-------|---|---|-------|-------|--|--|----|--|
| りっとう創業塾実施事業                         | 商工観光課 | 平成27年5月、産業競争力強化法に基づく国の第5次認定を受けた創業支援事業計画の実現に向け、りっとう創業塾を継続して実施するもの。                                       | りっとう創業塾では、創業に興味のある方、独立開業を考えている方のために、創業にあたり必要となる経営、財務、人材育成、販路開拓等の講座を受講することができる。なお、一定の要件を満たした受講生は、特定創業支援事業を受けた者として、登録免許税の軽減や信用保証枠の拡充などの特典を得ることができる。<br>・10月、11月実施予定   | 1,500 | 1,500 | 栗東市商工会が主催し、H28年度で2回目となる「りっとう創業塾」では、朝の部、夜の部合わせて延べ51名の受講者があり、39名が修了証の交付を受け、2名が創業済みの状況にある。特に、女性の創業希望者をターゲットとした朝の部では、17名中、10名が女性の受講者となった。創業塾終了後も、フォローアップ講座を開講しており、創業支援事業計画の目標達成に向け取組みを進めている。 | 創業支援事業計画の最終年度となり、受講者が市内で創業を実現するためのフォローアップ策の検討等を行う必要がある。  | 継続 |  |
| 創業支援希望者のネットワーク構築事業                  | 商工観光課 | 平成27年度実施した「りっとう創業塾」の受講生を始めとして、創業支援事業計画の実施期間を通じて、創業希望者に対する双方向の情報共有ネットワークを構築するためメーリングリストなどのプラットフォームを構築する。 | 創業関連情報を創業希望者へタイムリーに情報提供するシステムを構築することで、開業率の増加を図るもの。<br>・11月実施予定  | -     | -     | 昨年度に実施した「りっとう創業塾」の受講生を対象としたメーリングリストについては、暫定運用として実施済みである。一方、市からの創業関連情報提供や創業希望者のネットワーク手法として、facebookの活用等、効率的で効果的な手法を検討しているところにある。  | 商工会のメーリングリストや、受講生同士のSNSを通じて、創業支援希望者のネットワーク化が進んでいるため、空きテナント情報等の関連施策に係る情報提供を行う必要がある。   | 継続 |  |
| 小規模企業者支援のための市管理職による（仮称）出向くコンシェルジュ制度 | 商工観光課 | 中小企業者の情報収集を行い、新たなビジネスマッチングや国等の施策との融合を図り、中小企業と行政施策の相乗効果を目指すもの。   | 事業所調査とデータベースの構築に向け、消費者調査などの市民意向の調査や、商工会が実施する経営発達支援計画に基づく経営分析、その他、日本政策金融公庫による各種調査や地域経済分析システム（RESAS）を活用するなど、小規模企業者支援に向けた各種情報のデータベース化の方策を検討したうえで、市管理職による「（仮称）出向くコンシェルジュ制度」の創設に向け、協議・調整を図るもの。<br>・平成28年度詳細制度設計<br>・平成29年度実施予定 | -     | -     | H29年度より実施を目指す「（仮称）出向くコンシェルジュ制度」の創設に向け、栗東市商工会との定例事務局会議等を通じて、それぞれのデータベース構築に向けた役割を検討しているところにある。また、出向くコンシェルジュ制度のプレ事業として、2月開催の企業内同和問題研修啓発による企業訪問時に、市内事業者へのアンケート調査を実施した。                       | 域内調達の向上や地域活性化に向け、市内事業所のデータベース化を進める必要があり、商工会との相互連携のもと、市が構築すべきデータベースの骨格を整理する必要がある。また、このデータベース化に向けた情報取得手法である「出向くコンシェルジュ制度」の制度設計や体制を整理する必要がある。 | 継続 |  |
| 市の全体調達率に占める調達費率引き上げ                 | 商工観光課 | 市が調達する事務消耗品や備品等の購入における調達比率の向上により、域内経済循環を目指すもの。  | 市の市内における調達比率を調査するとともに、調達比率向上に向けた障壁を分析・検証し、比率向上を目指すもの。<br>・上半期に実施予定  | -     | -     | 新財務会計システムを活用するなかで、市の全所属における物品、役務等の調達先に関する調査を実施した。今回の調査結果を現状値として、市内（域内）での調達率引き上げに向けた取組みを進める。  | 予算執行説明会等を通じて、市の全体調達率に占める調達率引き上げの推進を啓発する必要がある。  | 継続 |  |

(3) 消費者ニーズを踏まえた事業展開の支援…2事業 5,100千円、執行見込額 5,100千円

(単位:千円)

| 事業名                         | 所管課   | 事業効果・目的  | 事業内容・予定  | 予算額   | 執行見込額 | 3月末進捗見込   | 次年度以降の課題   | 翌年度区分 | 備考 |
|-----------------------------|-------|--|--|-------|-------|---|--|-------|----|
| 消費者ニーズ調査等による市民・消費者・事業者の連携事業 | 商工観光課 | 消費者ニーズの把握を通じて、市内中小企業者の市民サポーターを募り、市民と事業者の共存共栄の関係を構築する。  | 市民(消費者)へのアンケート調査を実施するとともに、調査結果 報告会を通じた市民と事業者の懇談会(ワークショップ)を開催し、市民意向の傾向を探るとともに、市民(消費者)が市内事業者への関心を高め、地元購買に協力する市民(サポーター)になるよう、直接的な意見交換を行うとともに、市民が求める業種やサービスを調査するもの。<br>・7月から実施予定<br>くりちゃんバスの利用状況調査を通じて、バス利用者における市内事業所の利活用状況を検証するとともに、循環バスの利用増加を図りつつ、高齢化社会における交通弱者の買い物のある方を検討するもの。<br>・7月から実施予定 | 5,000 | 5,000 | 市民(消費者)のニーズを的確に把握するため、既存のアンケート調査等の分析を行うとともに、市民へのアンケート等調査に向け業務発注した。この業務のなかで、市民(消費者)へのアンケート調査(2000件)を実施し、現在、集計中にある。また、消費行動変容モデル調査や、店頭でのヒアリング等を行い、次年度の消費者・事業者ワークショップへと繋げていく。<br>市民(消費者)アンケート調査の一環として、買物バスの利用実態を調査した結果、くりちゃんバスなどを買物バスとして利用しない(91.7%)傾向がつかめたため、駐車場における現地調査は見送り、社会実験の必要性を検討していくこととした。 | H28年度の調査結果報告会を兼ね、その結果に基づく対応策(ターゲットを絞った商業活性化策)をワークショップで検討するとともに、それぞれの役割と連携を確認しながら、未永く取り組みが継続できるしくみを構築する必要がある。 | 継続    |    |
| 地域ならではの工夫による地域資源の活用、起業支援    | 農林課   | 農産物の六次産業化を支援し、旬の期間限定の収入になりがちな農業収入を年間を通じ収入を得られ、かつ六次産業化による業務の多様化により、農閑期における労務の確保を図り、もって農業所得の向上に寄与する。 | 農産物の六次産業化の支援を行う。<br>・随時実施  | 100   | 100   | 味噌生産や餅・酒などの米加工品、かぼちゃ焼酎など引き続き農業者の所得向上に向けて取り組みを支援し栗東産農産物のPRに努めた。  | 栗東市農業振興会で総合的に6次産業化など農業経営改善に取り組む生産者を支援しており、活動は市からの補助金の範囲内で行う。   | 継続    |    |

(4) 農林業の振興支援による活性化の推進…3事業 200千円、執行見込額 200千円

(単位:千円)

| 事業名              | 所管課                     | 事業効果・目的   | 事業内容・予定  | 予算額 | 執行見込額 | 3月末進捗見込   | 次年度以降の課題   | 翌年度区分 | 備考 |
|------------------|-------------------------|---|--|-----|-------|---|--|-------|----|
| 棚田、農作業ボランティア活動事業 | 農林課<br>(滋賀県)<br>(自治振興課) | 中山間地域の高齢化がすすんでいる地域の活性化が図れる。<br>集落の維持管理に必要な周辺整備活動への支援になる。<br>集落外の方に地域のよさを見つけていただくことができる。 | 中山間地域の高齢化の高まっている走井地域において滋賀県棚田ボランティア制度を活用し、ボランティアを募集する。<br>・随時募集<br>・草刈り等実施…4月、6月、9月、11月、12月、2月 | 200 | 200   | 棚田ボランティア制度の活用により、4月24日、6月26日、9月4日、9月25日、12月4日、12月18日にボランティアを募集し、草刈、側溝の泥上げ、花植え、ハーベストイン走井の会場整備などが実施された。 | 県のボランティア制度の活用により、高齢化が進む地域の保全活動に対する情報発信が行われているが、魅力発信やイベント開催について、地域と地域外の一層の連携と情報発信が必要になる。<br>また、H26～H28の3か年でイベントに関する県の支援が終了し、H27～H29で市の元気創造まちづくり補助金が終わるため、財源の確保も課題となる。 | 継続    |    |



平成28年度 地方創生関連事業進行管理シート

|                  |     |  |   |   |   |  |   |    |  |
|------------------|-----|--|---|---|---|--|---|----|--|
| 学校給食への市内農産物の使用拡大 | 農林課 | 学校給食共同調理場に市内産農産物の供給体制の整備と農産物の収穫時期の情報提供をすることでメニュー計画が立てやすくなり、市内産の使用量を増やすことができる。児童には新鮮な旬の市内産野菜を提供できる。 | 市内産の米や野菜を市内の学校給食に利用していくため、供給業者(JA等)、生産者、市農林課、市教育委員会が協議し、方策協議を行う。<br>・随時実施 | - | - | 市産の米を学校給食に利用するための協議を行い、新しいセンターの建設に併せた米の供給体制について話し合いを行った。 | 琵琶湖を守るために県下全域で推進している環境こだわり農業により生産された栗東産米を給食に供給することで、食育や地元消費に結びつけていく必要がある。   | 継続 |  |
| 林業対策事業           | 農林課 | 地域木材の活用により市内の森林を市民に身近に感じていただける。<br>栗東産木材を地域資源として位置づけることで認知度が上がり利用が拡大することで地域が活性化される。                | 広報「りっとう」「りっとう議会だより」の紙に、市内間伐材を利用する。<br>・平成28年5月号から使用(広報)                   | - | - | 昨年度の間伐施行において、紙利用目的に27tを搬出しており、広報5月号から間伐材配合紙の使用を行った。      | 市内山林の森林資源の循環利用として、持続可能な施策と森林保全を促すため、庁内のコピー用紙を間伐材配合紙の使用に切り替える。また、民間企業にも配合紙の使用を働きかける必要がある。広報「りっとう」「りっとう議会だより」での配合紙の使用は廃止する。 | 継続 |  |

(5) まちの立地特性を活かした地域に活力をもたらす産業の創出…1事業 214,844千円、 執行見込額 184,284千円 (単位:千円)

| 事業名     | 所管課     | 事業効果・目的  | 事業内容・予定   | 予算額     | 執行見込額   | 3月末進捗見込   | 次年度以降の課題   | 翌年度区分 | 備考 |
|---------|---------|--|---|---------|---------|---|--|-------|----|
| 工場等誘致事業 | 経済振興労政課 | 「環境」と「新技術」による地域活力の創出、多様な業種の立地促進、既存企業の市外流出防止を図り、税収効果、雇用効果、経済波及効果等を継続して持続する。 | ・企業立地促進法に基づく栗東地域基本計画による産業集積の促進<br>・トップセールスの効果的な実施…随時実施<br>・工場等誘致奨励金交付…2月～3月予定(株)リチウムエナジー・ジャパン、(株)手原産業倉庫、(株)イシダ) | 214,844 | 184,284 | 企業立地法に基づく栗東地域基本計画の変更(計画区域の拡大及び指定集積業種の追加)について、11月1日付けで関係大臣からの同意が得られた。<br>トップセールスで訪問した企業については、訪問後も事務レベルでの協議等を実施し、フォローアップに努めた。 | 税収・雇用効果等を持続・向上する観点から、企業誘致と共に既存企業の市外流出防止を図るべく、社会経済情勢や市の財政状況を勘案した上で施策の検討・見直しが必要である。併せて、新たな企業立地適地としての東部地域の開発を誘発すべく、(仮称)東西線道路事業を積極的に推進していく必要がある。 | 継続    |    |